

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成28年9月15日 (2016.9.15)

【公表番号】特表2014-519534(P2014-519534A)

【公表日】平成26年8月14日 (2014.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2014-043

【出願番号】特願2014-509633(P2014-509633)

【国際特許分類】

C 0 8 F 220/30 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

G 0 1 N 27/447 (2006.01)

C 0 9 D 11/30 (2014.01)

【F I】

C 0 8 F 220/30

C 0 8 F 2/44 C

G 0 1 N 27/26 3 1 5 F

C 0 9 D 11/30

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月28日 (2016.7.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 4 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 4 5】

実施例 1：赤血球様形状を持った R M 2 5 7 の粒子エマルジョンの調製

R M 2 5 7 ( 5 . 0 g ) をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、5 0 . 0 g のドデカンおよび 5 0 0 m g のクラトン G 1 7 0 1 E U を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 1 5 0 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2 0 0 0 r m p で 8 分間、1 5 0 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 1 0 0 m L 丸底フラスコに移し、これを 8 5 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、4 0 0 r p m に設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。エマルジョンの温度が安定したら、V a z o 6 7 ( 熱的開始剤 ) ( 2 5 0 m g ) をドデカン ( 5 m L ) 中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 5 0 マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 4 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 4 7】

実施例 2：タクトイド形状の R M 2 5 7 粒子エマルジョンの調製

R M 2 5 7 ( 5 . 0 g ) をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、5 0 . 0 g のドデカンおよびクラトン G 1 7 0 1 E U ( 5 0 0 m g ) を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 1 5 0 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2 0 0 0 r m p で 8 分間、1 5 0

でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100 mL丸底フラスコに移し、これを85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Luperox P (熱的開始剤) (250 mg) をドデカン (5 mL) 中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0149

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0149】

実施例3：RMD粒子エマルジョンの調製

RMD (5.0 g) をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50.0 gのドデカンおよびクラトンG1701EU (500 mg) を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて2000 rpmで8分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100 mL丸底フラスコに移し、これを85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Luperox P (熱的開始剤) (250 mg) をドデカン (5 mL) 中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0151

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0151】

実施例4：RM257およびディスパースレッド1メタクリレートの赤に着色された粒子エマルジョンの調製

RM257 (5.0 g) およびディスパースレッド1メタクリレート (0.125 g) をビーカーの中に配置し、それが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50.0 gのドデカンおよびクラトンG1701EU (500 mg) を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて2000 rpmで8分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100 mL丸底フラスコに移し、これを85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Luperox P (熱的開始剤) (250 mg) をドデカン (5 mL) 中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0154

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0154】

塩化メチレン(10 mL)中の塩化メタクリロイル(3.51 mL、3.76 g、0.036 mol)を、塩化メチレン(75 mL)中の市販のC I ディスパーズレッド19(95%、5.0 g、0.01438 mol)およびトリエチルアミン(8.01 mL、5.8 g、0.0575 mol)に徐々に加える。この混合物を一晩攪拌し、メタノール(50 mL)を加えて、粘着性の固体を得る。メタノールからの結晶化を試みると粘着性の固体が得られ、これを更に冷メタノールと共に磨砕する。得られる固体(MR3)を回収し、更なる少量のメタノールで洗浄する。収量: 6.0 g、85%、M.p.: 88-90.

## 工程2:

RM257(5.0 g)およびディスパーズレッド19ジメタクリレート(0.125 g)をビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、ドデカン(50 g)および500 mgのクラトンG1701EUを混合し、該表面活性剤が溶解するまで150 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silver son)ホモジナイザーを用いて2000 rpmで8分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100 mL丸底フラスコに移し、これを85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Luperox P(熱的開始剤)(250 mg)をドデカン(5 mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

## 【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0156

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0156】

実施例6: RM257および陽イオン性モノマーから調製される帯電粒子の製造

RM257(5.0 g)および陽イオン性モノマー(0.10 g)をビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、ドデカン(50 g)およびクラトンG1701EU(500 mg)を混合し、該表面活性剤が溶解するまで150 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン(Silver son)ホモジナイザーを用いて2000 rpmで8分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の100 mL丸底フラスコに移し、これを85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpmに設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、Luperox P(熱的開始剤)(250 mg)をドデカン(5 mL)中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を2時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを50マイクロメータの布を通して濾過する。

## 【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0158

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

## 【0158】

実施例7: 反応性メソゲン混合物の粒子エマルジョンの調製

3.75 gのRM257および1.25 gのRMBをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50 gのドデカンおよび500 gの

クラトン G 1 7 0 1 E U を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 1 5 0 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2 0 0 0 r m p で 8 分間、1 5 0 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 1 0 0 m L 丸底フラスコに移し、これを 8 5 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、4 0 0 r p m に設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、L u p e r o x P ( 熱的開始剤 ) ( 2 5 0 m g ) をドデカン ( 5 m L ) 中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 5 0 マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 6 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 6 1】

5 . 0 g の R M 2 5 7 および 0 . 1 5 g のキラル反応性メソゲンをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、5 0 g のドデカンおよび 5 0 0 m g のクラトン G 1 7 0 1 E U を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 1 5 0 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2 0 0 0 r m p で 8 分間、1 5 0 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 1 0 0 m L 丸底フラスコに移し、これを 8 5 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、4 0 0 r p m に設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、L u p e r o x P ( 熱的開始剤 ) ( 2 5 0 m g ) をドデカン ( 5 m L ) 中に溶解し、これを反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 5 0 マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 6 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 6 4】

4 . 5 g の R M 2 5 7 および 0 . 5 g のトリメチロールプロパントリアクリレートとをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、5 0 g のドデカンおよび 5 0 0 m g のクラトン G 1 7 0 1 E U を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 1 5 0 で攪拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2 0 0 0 r m p で 8 分間、1 5 0 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 1 0 0 m L 丸底フラスコに移し、これを 8 5 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、4 0 0 r p m に設定された攪拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、V a z o - 6 7 ( 熱的開始剤 ) ( 2 5 0 m g ) を反応系に加える。該反応系の攪拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 5 0 マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 6 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 6 7】

4.75 g の R M 2 5 7 および 0.25 g の反応性メソゲントリアクリレートをビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50 g のドデカンおよび 500 mg のクラトン G 1 7 0 1 E U を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 150 で撹拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2000 rpm で 8 分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 100 mL 丸底フラスコに移し、これを 85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpm に設定された撹拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、V a z o - 6 7 (熱的開始剤) (250 mg) を反応系に加える。該反応系の撹拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 50 マイクロメータの布を通して濾過する。

【誤訳訂正 1 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 7 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 7 0】

5.0 g の R M 2 5 7 および 0.225 g の安息香酸反応性メソゲン (シントンケミカルズ社 (Synthon Chemicals)) ビーカーの中に配置し、それらが溶融するまで加熱する。もう一つのビーカーの中で、50 g のドデカンおよび 500 mg のクラトン G 1 7 0 1 E U を混合し、該表面活性剤が溶解するまで 150 で撹拌する。これらの溶液を合体し、シルバーソン (Silverson) ホモジナイザーを用いて 2000 rpm で 8 分間、150 でホモジナイズする。この時点で安定なエマルジョンが得られる。該エマルジョンを三口の 100 mL 丸底フラスコに移し、これを 85 で予備加熱し、窒素をフラッシュさせる。このフラスコに還流コンデンサと、400 rpm に設定された撹拌ブレードを備えた塔頂スターラーを取り付ける。反応物の温度が安定したら、V a z o - 6 7 (熱的開始剤) (250 mg) を反応系に加える。該反応系の撹拌および加熱を 2 時間維持して重合を完了させる。該反応系を室温にまで冷却し、エマルジョンを 50 マイクロメータの布を通して濾過する。